

財政健全化へ向けて どうなる新年度予算案

～第1回定例会で平成17年度予算案などを提案～



市議会第1回定例会が2月28日に開
会され、平成17年度予算案（総額148
9億4072万円）をはじめとする議案
を提案しました。
広報おたるでは、「シリーズ財政再建」
として市の深刻な財政状況とそれを克
服するための取り組みについて連載し
ています。今回は、昨年と同様に大変
厳しい財政状況の中で編成された17年
度予算案についてお知らせします。

平成17年度予算編成にあたって

小樽市長 山田勝磨

私は一昨年の市長2期目就任以来、
市民の皆さんとの対話・ふれあいを
大切にし、皆さんの視点に立った行
政を心掛け、小樽のまちづくりに取り
組んでまいりました。

先月1日の参議院予算委員会で、
小泉首相は、小樽運河などの眠って
いた観光資源を掘り起こし、多くの
観光客を集めることに成功した例と
して小樽を紹介していました。この
ことは、小樽の持つ可能性、潜在能
力の高さと、これまでのまちづくり
に対して高い評価をいただいたもの
と思っております。今後とも皆さん
とともに創意と工夫を凝らしながら、
まちづくりを進めたいと強く感じて
います。

現在、国や地方を取り巻く情勢は、
少子高齢化の進展や経済の低迷によ
る景気への不安など、依然として厳
しい状況にあります。また、行政に
対する要望も多様化しており、これ
らに的確に対応するためには、構造
改革を進めて安定的に継続できる体
質をつくり上げなければなりません。

このような中で、市の平成17年度
予算については、「財政の健全化」を
最重要課題と位置づけ、事務事業や
組織・機構などの一層の見直しを図

るとともに、市民の皆さんには家庭
ごみの有料化や各種施設の使用料の
全面改定などによる受益者負担をお
願いするものになっていきます。

限られた財源の中での予算編成で
すが、少子化対策や子育てを支援す
る事業に重点を置いたほか、教育環
境の充実を図るために、特別教室の
整備や学校施設の改修も行います。

そのほか、各種施策の柔軟かつ効
果的な推進を目的とした、市民と行
政の「協働」によるまちづくりを実現
するため、NPO（民間非営利団体）
やボランティアの皆さんとともに事
業を展開し、市民の皆さんの力を最
大限に生かす取り組みを進めました。

残念ながら今回の予算編成におき
ましても、収支の均衡を図るまでには
至らず2年連続の赤字予算になら
ざるを得ませんでした。しかし、財
政健全化計画の効果は、着実に表れ
てきています。1日も早く安定した
財政基盤構築のために、さらなる努力
を重ねてまいりたいと思っております。

平成17年度 予算案の概要

(▲はマイナス)

会計区分	平成17年度予算(案) (A)	平成16年度予算(当初) (B)	増減額 (A)-(B)	伸び率	
一般会計	632億9792万円	683億1135万円	▲50億1343万円	▲7.3%	
特別会計	港湾整備	7億1784万円	5億8360万円	1億3424万円	23.0%
	青果物卸売市場	5882万円	6072万円	▲190万円	▲3.1%
	水産物卸売市場	4245万円	4217万円	28万円	0.7%
	国民健康保険	195億6210万円	188億3995万円	7億2215万円	3.8%
	土地取得	6060万円	6050万円	10万円	0.2%
	駐車場	8168万円	8317万円	▲149万円	▲1.8%
	老人保健	211億5343万円	217億3086万円	▲5億7743万円	▲2.7%
	住宅	16億8593万円	16億2555万円	6038万円	3.7%
	簡易水道	1億8274万円	1億3115万円	5159万円	39.3%
	介護保険	117億7310万円	112億7179万円	5億131万円	4.4%
	融雪施設設置資金貸付	2億6679万円	3億4582万円	▲7903万円	▲22.9%
	物品調達	1100万円	1200万円	▲100万円	▲8.3%
	交通災害共済	-	1724万円	▲1724万円	(廃止)
	小計	555億9648万円	548億452万円	7億9196万円	1.4%
企業会計	病院	165億2500万円	166億6757万円	▲1億4257万円	▲0.9%
	水道	55億7852万円	54億6802万円	1億1050万円	2.0%
	下水道	77億911万円	72億4108万円	4億6803万円	6.5%
	産業廃棄物等処分	2億3369万円	2億5593万円	▲2224万円	▲8.7%
	小計	300億4632万円	296億3260万円	4億1372万円	1.4%
合計	1489億4072万円	1527億4847万円	▲38億775万円	▲2.5%	

まちを支える 三つの会計

- ▶一般会計…福祉や教育、衛生など地方公共団体の行政運営における基本的な会計のことです。
- ▶特別会計…国民健康保険や介護保険など特定の事業に限定し、一般会計と区分するために設置する会計。それにかかる特定の歳入と歳出により個別に経理を行います。
- ▶企業会計…企業経営という観点を取り入れ、病院事業、水道事業など地方公営企業法の全部、または一部の適用をうける会計のことです。

**依然厳しい財政状況
予算規模は大幅縮小
前年より約38億円の減**

平成17年度当初予算案の総額は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせ、1489億4072万円です。これは、16年度当初予算と比較すると、約38億円(2.5%)減少しています。

このうち、市の基本的な会計である一般会計について同様に比較すると、約50億円(7.3%)減少し、632億9792万円となりました。16年度当初予算には、市債の借り換えを行うための費用として約26億円を含んでいましたが、それを除いたとしても約24億円の縮小を図りました。

このほか、特別会計では交通災害共済事業を廃止しましたが、国民健康保険や介護保険などで増加し、約8億円(1.4%)増の555億9648万48万円となりました。また、企業会計では、水道、下水道の各会計で増加し、約4億円(1.4%)増の300億4632万32万円となっています。

平成15年11月に示した財政

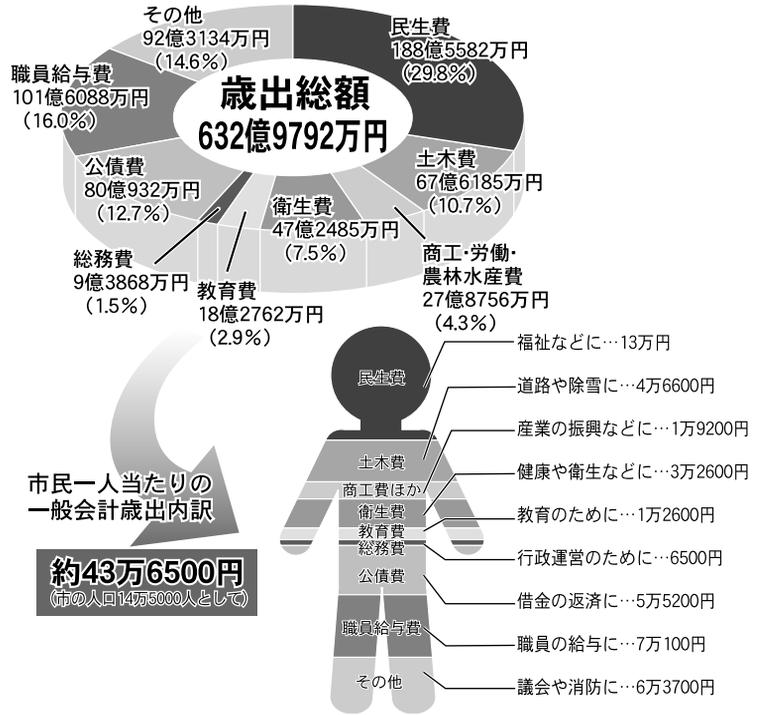
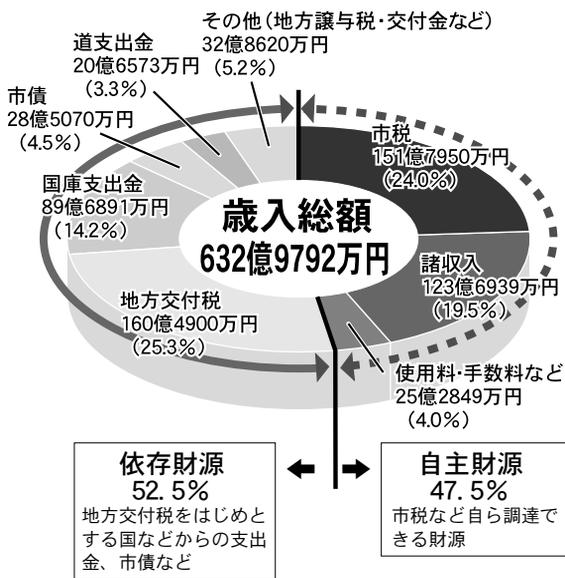
健全化の取り組みは着実にその効果を表してきています。17年度の予算編成に当たっては、さらなる事務の効率化による経費節減と事業の厳選を行い、財政規模を大幅に縮小して、累積赤字額を16年度当初予算の赤字額(約19億円)以下に抑えることを目標に作成しました。

**2年連続の赤字予算
しかし赤字額は圧縮
赤字額3億9000万円**

平成16年度の一般会計当初予算では、約19億円の財源不足が発生し、今回は、いかにこれを解消するかが大きな課題となりました。

17年度の一般会計当初予算のうち、一般財源収入(使い道が特定されない収入)は361億8625万円で、ほぼ前年並みを確保することができました。これに対し支出に必要な一般財源の額は372億2790万円で、10億4165万円不足します。しかし、水道会計や基金などからの借り入れにより、6億5000万円を措置することで、17年度の赤字額は、前年を大きく下

平成17年度一般会計当初予算額



「平成16年度当初予算の赤字額以下に抑える」ということを目標に予算を編成

<p>平成16年度の予算では</p> <p>当初は19億400万円の財源不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 予算執行での経費節減 ▶ 土地などを売却することで、新たな財源を生み出す ▶ 減債基金の取り崩し <p>などにより</p> <p>決算見込みの赤字額は 約14億7000万円に</p>	<p>平成17年度の予算では</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 一般財源収入を前年並みに確保 ▶ 事業を厳選することで支出を抑制 ▶ 財政健全化の取り組みなどの効果 ▶ ほかの会計(水道、産業廃棄物)や基金からの借り入れ <p>などにより</p> <p>単年度の赤字額は 約3億9000万円に</p>	<p>平成16年度から17年度までの累積赤字額は 約18億6000万円と試算</p>
--	--	---

前年より、平成17年度の一般会計当初予算は、前年を大きく下回る632億9792万円となりました。この額は、今から13年前の平成4年度当初予算額とほぼ同じ水準となっています。

【一般会計の歳入(収入)】

① 市税
市税収入は、151億7950万円です。前年と比べ約4000万円(0.3%)減少しています。

市民税は、景気の低迷と人口流出などにより、個人、法人ともに減少し、また、たばこ税も減少していますが、固定資産税、都市計画税は、新築家屋の評価増などにより、

「一般会計の予算規模 13年前の水準へ」
632億9792万円

前述のとおり、平成17年度の一般会計当初予算は、前年を大きく下回る632億9792万円となりました。この額は、今から13年前の平成4年度当初予算額とほぼ同じ水準となっています。

「ほかの会計や基金からの借り入れはどのくらいあるのか?」

市では、予算編成での財源不足を補うため、平成14年度から水道などの企業会計や特定目的のために積み立てている基金から借り入れを行い、やり繰りしています。

その額は、17年度末で17億5000万円になる見込みです。今後は、水道などの会計へ、その経営に支障が出ないよう計画的に返済を行う必要があります。

【一般会計の歳出(支出)】

① 職員給与費など(人件費)
職員の給与は、16年度から本俸の3%を減額しています。

② 地方譲与税・交付金など
地方譲与税(所得税や消費税込)が、地方自治体に譲与されるものや交付金は前年に比べ3億6700万円増の32億8620万円となっています。

これは国の「三位一体改革」による税源移譲により、所得譲与税が、前年に比べ約2億8000万円増加するなどしたためです。

「ほかの会計や基金からの借り入れはどのくらいあるのか?」

市では、予算編成での財源不足を補うため、平成14年度から水道などの企業会計や特定目的のために積み立てている基金から借り入れを行い、やり繰りしています。

その額は、17年度末で17億5000万円になる見込みです。今後は、水道などの会計へ、その経営に支障が出ないよう計画的に返済を行う必要があります。

ふれあい 福祉・安心プラン
市民福祉

- ▶つどいの広場事業 **577万円**
主に就学前の乳幼児とその親を対象とした子育て支援の場を朝里幼稚園に設けます。
- ▶銭函保育所増築事業 **2320万円**
入所待機児童解消のために、銭函保育所の増築を行います。(定員100人→110人に拡大)
- ▶福祉コミュニティ都市推進事業 **180万円**
高齢者の生きがいづくりや世代間交流など、市民と連携して事業を実施します。

はぐくみ 文化・創造プラン
教育文化

- ▶防犯ブザー購入事業 **480万円**
登下校時の安全確保のため、防犯ブザーを導入し、市内小・中学校の児童・生徒に貸与します。
- ▶都市間交流推進事業 **100万円**
市内小学生による広島県尾道市との児童交流や広島平和記念式典への参加を行います。
- ▶放課後児童対策事業(拡大分) **936万円**
障害のある児童の受け入れや土曜日と夏・冬・春休み中の時間延長、休校日の開設を実施します。

うるおい 生活・快適プラン
生活環境

- ▶臨時市道整備事業 **6億3100万円**
市道の舗装を新規に実施するほか、道路改良・側溝改良を行います。
- ▶公営住宅建て替え事業 **5億2543万円**
建築中のオタモイ公営住宅1号棟の平成17年8月の完成を目指し工事を進めます。
- ▶家庭ごみ減量化・有料化関連事業 **2億6633万円**
家庭ごみ有料化に伴い、資源物収集品目や祝日収集、冬期間収集困難地区の対応などを拡大します。

平成17年度の主な事業を「21世紀プラン」に沿って説明します



ゆたかさ 産業・活力プラン
産業振興

- ▶塩谷漁港整備道直轄事業負担金 **810万円**
防波堤、護岸、船揚げ場を新設し、平成17年度中の完成を目指します。
- ▶観光基本計画の策定 **60万円**
観光の新しい魅力づくりや誘致促進のため、平成15年度から策定を始めた計画を完成させます。
- ▶小樽教育旅行誘致促進実行委員会負担金 **200万円**
小樽、北後志地区が一体となって、修学旅行誘致の宣伝活動を実施します。

にぎわい 都市・形成プラン
都市基盤

- ▶第2号・第3号ふ頭給水施設整備事業 **6100万円**
第2号・第3号ふ頭の給水施設(船舶給水管)を平成17~18年度で整備します。
- ▶小樽運河浄化対策事業 **5580万円**
平成15年度から実施している小樽運河(北運河)の水質浄化に取り組みます。
- ▶北防波堤改良事業 **4500万円**
老朽化の進む北防波堤の改良を進めます。

が、これをさらに5%まで減額し、また、職員数削減も進めました。

このほか、市長、助役、収入役、教育長の給与をさらに圧縮し、20%削減したほか、定年退職者数(退職金)の減もあり、約7億3000万円の人件費が減少しました。

②公債費
借金を返済するためのお金である公債費は80億932万円、市債の借り換えを行った16年度より26億3005万円(24.7%)も減少しています。しかし、依然として歳出に占める割合は大きく、厳しい状況が続いています。

また、17年度末には、市債の残高が約34億円解消されませんが、それでも市民一人当たりでは、40万円以上の借金を背負っている計算になります。

財政健全化の取り組み その効果は…… 2年間で約34億円の節減

市では、平成9年度から開始した「行政改革実施計画」と14年2月に設置した「財政健全化緊急対策会議」により、財源不足の解消に取り組んで

きました。

これにより16年度は、約15億円の経費節減を図ることができました。そしてさらに今回は約19億円の節減により、2年間で約34億円の効果を生まみ出しています。

現在、16年度の決算見込みや17年度の予算の状況を踏まえて、収支試算の再計算を行っています。今月中にはこれら内容に基づいた、「新しい財政健全化計画」を示す予定です。

これからも行政改革に取り組むため、財源不足分の解消を図るため、財政健全化へ向け努力したいと考えています。

◆小樽市の財政についてのお問い合わせは、財政部財政課
☎4111内線231・232、FAX0675へどうぞ。